



<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野 東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の 4 者 ・歴史的分野 東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版の 5 者 ・公民的分野 東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の 4 者 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回調査委員会（7 月 8 日）で地理的分野 4 者、歴史的分野 5 者、公民的分野 4 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容については、各分野の目標が達成できるようにどのような学習活動が取り上げられているか。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列については、どのように系統的、発展的に学習できるように工夫されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができる工夫、使用上の便宜が図られているかという視点で調査整理した。
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍については、「世界の諸地域」において、複数の資料の比較や関連付けを通じて、特色をとらえる学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されているという特色があり、優れている。 ・教育出版については、「日本のさまざまな地域」において、自分なりに考えたテーマを設定し、仮説を立て、意見を交換する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されているという特色があり、優れている。 ・帝国書院については、「日本のさまざまな地域」において、地域的特色を構成する各事象と地球的課題の相互関係を考察する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されているという特色があり、優れている。 ・日本文教出版については、「日本の諸地域」において、持続可能な社会を実現する上で取り組まなければならない地域の課題を設定するなど系統的・発展的に学習できるよう工夫されているという特色があり、優れている。 <p>(2) 歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍については、「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載している特色があり、

優れている。

- ・教育出版については、「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載している特色があり、優れている。
- ・帝国書院については、「確認しよう」で、一単位時間の学習内容を振り返り、大切な事項を確認する活動や、「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する活動を掲載している特色があり、優れている。
- ・山川出版については、「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載している特色があり、優れている。
- ・日本文教出版については、「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って、理解を確認する活動や、「深めよう」で、学習課題の理解を深める活動を掲載している特色があり、優れている。

(3) 公民的分野

- ・東京書籍については、「導入の活動」で単元の学習課題を立て、学習内容への興味・関心を高める活動や、「まとめの活動」で、学習内容を整理しながら単元の学習課題を解決する活動を掲載しているという特色があり、優れている。
- ・教育出版については、「学習のはじめに」で、章全体の学習課題をとらえ、学習の見通しをもつ活動や、「学習のまとめと表現」で、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載しているという特色があり、優れている。
- ・帝国書院については、「学習の前に」で、イラストを読み解き、学習の見通しをもつ活動や、「章の学習を振り返ろう」で、学んだことを振り返って整理する活動を掲載しているという特色があり、優れている。
- ・日本文教出版については、「学習の始めに」で、学習課題の解決の手がかりとなる見方・考え方をとらえる活動や、「チャレンジ公民」で、現代の社会の課題について考察・構想する活動を掲載しているという特色があり、優れている。

(4) このほか、次の点について話題となった。

- ・各者ともに地理・歴史・公民的分野において領土問題（北方領土、尖閣諸島、竹島）について取り扱っている。
- ・歴史的分野で各者ともアイヌ民族の歴史について取り扱い、特設コーナーが設定されている。

社会の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[地理的分野]</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数－115 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 の目標、内容等	2・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・701	新しい社会 地理
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境線などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州におけるイスラム教徒の生活・文化やオセアニア州のツバルにおける環境問題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「アフリカが発展していく上での課題」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、高知県高知市について、自然環境・防災、人口、産業や土地利用の変化、交通の発達や他地域との結び付きなどから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地震の震源や火山が連なる地域や地域によって異なる気候の分布や地域などをとらえたり、自然災害と防災・減災への取組について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、都市・村落、産業、交通・通信、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然環境の中での暮らし」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎市における少子高齢化について、身近な地域の将来像を話し合ったり、他者を尊重し、協力する態度や地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「日本の位置」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界各地の人々の生活と環境」において、写真や雨温図などの資料を読み取る学習の後に、「世界の諸地域」において、複数の資料の比較や関連付けを通じて、特色を捉える学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 世界と日本の地域構成は27ページ、世界の様々な地域は107ページ、日本の様々な地域は142ページ、その他は19ページであり、総ページ数は295ページで、前回と同様である。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業を取り上げたり、現在に受け継がれるアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各単元の導入部において、単元全体を貫く「探究課題」を設定する活動や、探究課題の解決を補助する問いを軸に構造化された課題解決的な学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見開きで1単位時間の構成を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・702	中学校 地理 地域にまなぶ
取扱内容 の目標、内容等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p> <p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、身近な飲み物の原料の生産状況などから地域構成を大観したり、伝統・文化の意義とその継承などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域の自然・社会条件と暮らしとのかかわりに着目して人々の生活の様子を考察したり、世界の言語・民族・宗教と社会とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における経済発展やヨーロッパ州における統合とその課題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのだろうか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市について、川と地域、住宅の開発、農業や工業などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や季節風の影響を受けた多様な気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、歴史、産業、交通・通信、伝統文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中国・四国地方における人口集中や人口減少」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、多摩ニュータウンにおける高齢化問題について、地域に見られる課題を話し合ったり、課題解決に向けて考え、地域に見られる課題を解決していこうとする態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、世界各地の生活から興味・関心を高める学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、自分なりに考えてテーマを設定し、仮説を立て、意見を交換する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 世界と日本の地域構成は19ページ、世界の様々な地域は101ページ、日本の様々な地域は149ページ、その他は26ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章や節などの末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や言葉を確認する活動や、設定されたテーマについて自分の言葉で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、各学年	46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・703	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
内容の構成・ 排列、分量等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の文化、人口、面積などから地域構成を大観したり、国境線や国名の由来、国旗のデザインに取り入れられた自然、歴史や宗教などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、気候帯の特徴に着目して人々の生活の様子を考察したり、「場所」や「人間と自然の相互依存関係」とのかかわりから生活や環境の多様を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における自然環境やヨーロッパ州における文化の共通性と多様性から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、北アメリカ州では「アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら世界をリードしたのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、環境保全、生活・文化などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、日本の主な山地・山脈や日本各地の気候の分布や地域などをとらえたり、自然災害に対する備えへの取組について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市・村落、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「近畿地方における環境問題への取組」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、京都市のバスの混雑について、自分の住む地域の在り方と世界と日本の学習との関連について話し合ったり、地域の課題の解決に向けて考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、地域で見られる地球的課題の影響を考察する学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、地域的特色を構成する各事象と地球的課題の相互関係を考察する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 世界と日本の地域構成は24ページ、世界の様々な地域は104ページ、日本の様々な地域は155ページ、その他は17ページであり、総ページ数は300ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、雪と共にある北海道の人々の生活を取り上げたり、自然と共に生きるアイヌの人々の歴史や文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章・節・各本文において、冒頭に設けた単元を貫く問いから学習の見通しをもつ活動や、末尾に言語活動を備えた学習の振り返りの活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 地域の特色が見える写真資料を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、資料は識別しやすい色とし、文字はユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・704
取扱内容 の目標、内容等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p> <p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積などから地域構成を大観したり、国境や人口・面積、国名・国旗の由来などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、衣食住の特色や、言語・宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における人口や経済発展やアフリカ州における自立のための開発と国際協力などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、オセアニア州では、「多文化が共生する社会」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都市伏見区について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や地域によって気温や降水量が異なる気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口や都市・村落、歴史的背景、産業、交通・通信、持続可能な社会づくりからそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中部地方における産業」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、京都市の町づくりについて、地域の課題を話し合ったり、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、節末で地球的課題を設けたり、「チャレンジ地理」等で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の諸地域」において、人類全体で取り組まなければならない地球的課題について考察する学習の後に、「日本の諸地域」において、持続可能な社会を実現する上で取り組まなければならない地域の課題を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>世界と日本の地域構成は22ページ、世界の様々な地域は95ページ、日本の様々な地域は156ページ、その他は14ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の諸地域」において、北海道地方の自然環境と人々のかかわりを取り上げたり、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や民族共生象徴空間を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の終末部において、具体的な課題を自ら調べたり、議論したりする活動や、学習を振り返って知識の定着を図る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会の目標について

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学年・分野・領域等の目標など】

[歴史的分野]

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

【参考】

○ 目標の改善

小学校社会科及び高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数－135 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	2・東書	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・705	新しい社会 歴史
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマ設定などの調査方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では律令国家の形成に着目して、貴族と一般の人々の生活に違いが生じた理由を考察したり、単元のまとめでは「古代日本のキーパーソンは誰だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の成立の影響に着目して、平安時代の仏像と特徴を比較して違いを考察したり、単元のまとめでは「古代との比較から中世の特色を探ろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、織田・豊臣の統一事業に着目して、戦国時代を終わらせた最も重要な政策を考察したり、単元のまとめでは「近世で最も活躍した身分はどれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興の象徴となる出来事を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、応仁の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 歴史との対話は26ページ、近世までの日本とアジアは124ページ、近現代の日本と世界は130ページ、その他は15ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約9パーセントの増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して、13世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・706
取扱内容 の目標、内容等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、名古屋や川崎の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では中央集権国家の仕組みに着目して、中央と地方の関係を考察したり、単元のまとめでは「日本という国がどのように成立し、発展していったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「古代と比較し、中世はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、元禄・化政文化の形成に着目して、共通点や時代背景の違いを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代と前の時代を比較して、近世の特色を説明してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「歴史の流れをとらえよう」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 歴史との対話は27ページ、近世までの日本とアジアは122ページ、近現代の日本と世界は141ページ、その他は8ページであり、総ページ数は298ページで、前回より約14パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館の来航記念碑の写真を掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	46・帝国	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・707	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についての資料やそれらを示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、情報の集め方などについて示した「技能をみがく」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では東アジアとの接触や交流に着目して、仏教の伝来とその影響を考察したり、単元のまとめでは「古代の国が成立するために重要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、文化などの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士と庶民がそれぞれの結び付きを強めていった目的は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では鎖国などの幕府の対外政策に着目して、幕府にとっての鎖国の利点を考察したり、単元のまとめでは「安定した政権が成立するために必要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治時代の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による、政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の高度経済成長に着目して、経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見だして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 歴史との対話は13ページ、近世までの日本とアジアは134ページ、近現代の日本と世界は140ページ、その他は5ページであり、総ページ数は292ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治時代の札幌の地図や屯田兵村の写真、北海道の開拓と産業の発展に係る資料を掲載して、北海道や札幌市の近代化の過程を説明したり、アイヌの人たちの生活や文化について、神話や衣食住などの資料を掲載して、独自の文化を築いたことについて説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認しよう」で、一単位時間の学習内容を振り返り、大切な事項を確認する活動や、「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			81・山川	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・708
取 扱 内 容 年 の 目 標 、 内 容 等 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学〕	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代では東アジアとの接触や交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教が大きな影響力をもった理由を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では産業や交通の発達に着目して、生産技術の向上や三都の発展を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本の経済や社会はどのように変化しただろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくらうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法の制定やそれに伴う法律の改正に着目して、日本の民主化の進展を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程とその戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>				
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 歴史との対話は22ページ、近代までの日本とアジアは132ページ、近現代の日本と世界は125ページ、その他は9ページであり、総ページ数は288ページとなっている。</p> <p>※前回は調査研究していないため、増減の比較を掲載していない。</p>				

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり、アイヌの人たちの歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたりとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文		第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・709
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や大阪の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、歴史の調べ方について示した「スキルUP」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では古事記や日本書紀に着目して、当時の人々の信仰やものの見方を考察したり、単元のまとめでは「文字の変化に着目して、古代までの特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では産業が発達していく過程に着目して、民衆の成長を背景とした文化の高まりを考察したり、単元のまとめでは「法に着目して、中世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、幕府の改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「幕府の収入に着目して、近世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等		<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>歴史との対話は23ページ、近代までの日本とアジアは138ページ、近現代の日本と世界は143ページ、その他は16ページであり、総ページ数は317ページで、前回より約16パーセント増となっている。</p> <p>※日文については巻頭のⅡ～Ⅳで「歴史との対話」を扱っていることを編集趣意書に記載しているため、ページ数に含めている。そのため、大項目ごとのページ数の合計が総ページ数と一致しない。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土に関する条約や北方領土付近の国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で、一単位時間の学習の理解を確認する活動や、「深めよう」で、学習課題の理解を深める活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[公民的分野]</p> <p>現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数－100 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第3学年 公民的分野	公民・901	新しい社会 公民
取扱内容 の目標、内容等 <small>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</small>	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本で暮らす外国人の数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動の体育館利用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、社会保障給付費の財源の内訳について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、日照権に配慮したマンションについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の難民発生数について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、個人の尊重と日本国憲法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本国憲法で保障されている人権について調べ、人権上の課題の解決策について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 私たちと現代社会は35ページ、私たちと経済は52ページ、私たちと政治は90ページ、私たちと国際社会の諸課題は40ページ、その他は38ページであり、総ページ数は255ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「導入の活動」で、単元の学習課題を立て、学習内容への興味・関心を高める活動や、「まとめの活動」で、学習内容を整理しながら単元の学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、立体感や陰影のある表現を省いたデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第3学年 公民的分野	公民・902	中学社会 公民 ともに生きる
取扱内容 の目標、内容等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p> <p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、外国資本の大型家具店について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、ごみ収集所の設置場所の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、段差が少ない路面電車の乗降口について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の育児休暇取得率の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、18歳選挙権の実現について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが設立した学校について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、私たちの暮らしと経済の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、消費生活と経済活動について調べ、暮らしにおける経済活動の意味について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>私たちと現代社会は26ページ、私たちと経済世界は64ページ、私たちと政治は90ページ、私たちと国際社会の諸課題は44ページ、その他は40ページであり、総ページ数は264ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倶知安町の条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、千歳市の手話で通話できる公衆電話ボックスの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習のはじめに」で、章全体の学習課題をとらえ、学習の見通しをもつ活動や、「学習のまとめと表現」で、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウトを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第3学年 公民的分野	公民・903	社会科中学生の公民 よりよい社会を目指して
取扱内容 の目標、内容等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p> <p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、授業を受けている外国籍の子どもたちについて、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、マンションの騒音問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、パン屋の起業に関する事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、景気の変動と財政政策の例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、夫婦別姓の議論について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、少年議会の取組について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国別二酸化炭素排出量について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、民主政治の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国の政治の仕組みや地方自治について調べ、民主政治を発展させるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>私たちと現代社会は26ページ、私たちと経済は64ページ、私たちと政治は80ページ、私たちと国際社会の諸課題40ページであり、その他は25ページであり、総ページ数は235ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習の前に」で、イラストを読み解き、学習の見通しをもつ活動や、「章の学習を振り返ろう」で、学んだことを振り返って整理する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文	第3学年 公民的分野	公民・904
取扱内容 の目標、内容等	<p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年</p> <p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、AIを活用した無人店舗について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、クラス対抗合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、自動車会社で働く人の事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、生活保護受給世帯数の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病訴訟について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、裁判員裁判シミュレーションについて、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、現代社会の特色の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統文化の特徴と多様性について調べ、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>私たちと現代社会は28ページ、私たちと経済は54ページ、私たちと政治は88ページ、私たちと国際社会の諸課題は45ページ、その他は42ページであり、総ページ数は257ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方議会の役割を考察できるようにしたり、帯広市の馬文化祭りの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習の始めに」で、学習課題の解決の手がかりとなる見方・考え方をとらえる活動や、「チャレンジ公民」で、現代の社会の課題について考察・構想する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ふりがなをゴシック体にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。